

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 34-003

PDCA	事務事業名	新病院建設事業	部課等名	半田病院事務局 管理課 新病院担当	担当	仲村	
					内線等	22-9881	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第3節 健康増進と医療体制の充実 基本施策： 3. 半田病院 単位施策： (2) 健全な経営の推進 個別施策： ④将来構想の検討					
	根拠法令等						
	対象・目的	現病院は、建設後37年以上経過しており、老朽化、耐震性、狭隘化等の課題を抱えている。特に、耐震性の課題については、地震の規模によっては医療の継続提供ができなくなる可能性がある。これらの課題や、経営面、人材確保の面からも、常滑市民病院との診療統合及び経営統合を進めたうえで、令和7年春の新病院開院を目指す。					
	目的を達成するための手段・活動内容	【診療統合・経営統合】 常滑市民病院との診療統合・経営統合を実現するために、半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議を開催し、協議する。 【新病院建設工事関連】 ①新病院建設に伴う土地利用計画策定業務を実施する。 ②新病院建設に伴う設計入力地震動評価について、名古屋大学と共同研究を行う。 ③新病院建設に伴う設計事業者選定プロポーザルを実施する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議の実施	—	—	2	回	
		同調整会議、経営統合部会及び診療統合部会の実施	—	—	6	回	
		常滑市・半田市医療提供体制等協議会等の実施	—	12	—	回	
		事業費		13,308	27,379	千円	
		人件費		21,134	20,386	千円	
		総事業費		34,442	47,765	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	統合会議実施1回当たりのコスト	—	—	611.0	千円		
	同調整会議等実施1回当たりのコスト	—	—	306.0	千円		
	常滑市・半田市医療提供体制等協議会等の実施1回	—	410.3	—	千円		
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①業務進捗率（土地利用計画）	実績値		60.0	100.0	%
			目標値		65.0	100.0	
②業務進捗率（設計入力地震動評価）		実績値			100.0	%	
		目標値			100.0		
③業務進捗率（設計事業者選定プロポーザル）		実績値			100.0	%	
	目標値			100.0			
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	B 常滑市民病院との診療統合及び経営統合を実現するために、「半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議」を2度開催し、協議した。経営統合が可能か検証するとともに、経営統合する場合の条件や時期について、引き続き協議していくこととなった。 建設関連事業に関しては、いずれの業務も計画通り実施することができた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持 常滑市民病院との診療統合及び経営統合を実現するために、「半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議」を引き続き開催し、協議する。 一方、建設工事関連においては、現病院が抱える老朽化、耐震性、狭隘化等の課題を解決するために、知多半島中南部全域における中核病院として、救急医療を中心とした政策的医療を継続的に担う新病院を、安全にかつ遅滞なく建設する。					
		成果指標			目標値	単位	
	令和2年度の目標	①業務進捗率（建設設計業務）			36.0	%	
		②業務進捗率（建設支援業務）			18.0	%	